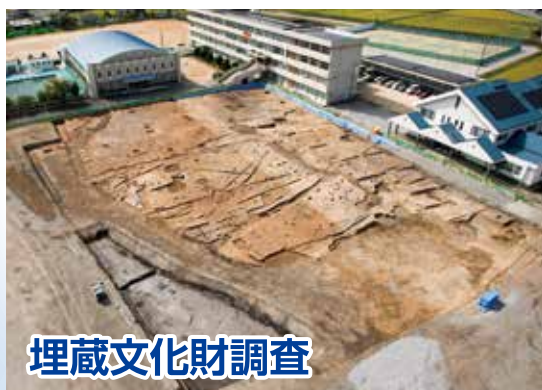


# 兵庫の社会基盤整備を総合的に支援します



## 業務案内 2026



公益財団法人 兵庫県まちづくり技術センター  
Hyogo Construction Technology Center for Regional Development

# ごあいさつ

兵庫県まちづくり技術センターは、阪神・淡路大震災を契機に平成8年4月、兵庫県及び県内市町の建設技術の向上と公共事業の効率的な推進を図る技術支援団体として設立され、県・市町はじめ関係の皆様の温かいご支援をいただき、お陰をもちまして、令和8年4月に設立30周年を迎えました。

高度な技術力を有する公益財団法人として「建設事業支援」「上下水道支援」「まちづくり支援」「埋蔵文化財調査」の4つの分野に、これらを支える「技術者育成」を加えた5つを柱とし、兵庫県がめざす「躍動する兵庫」の実現に向け、県・市町の信頼と期待に応えるため様々な支援活動を展開しています。

現在、社会基盤整備を取り巻く環境は大きな転換期を迎えています。担い手不足の深刻化、老朽化リスクの顕在化、地震・気候変動による災害リスクの増大、そして技術革新の急速な進展等の大きな潮流の中で、人材育成・技術継承や、多様でよりきめ細やかな対応が求められる補修・更新事業への支援、官民連携の取組等が喫緊の課題となっています。

センターでは、これら社会情勢の変化や県・市町のニーズに適時的確に対応するため、設立30周年を機に、「未来を切り拓く羅針盤」として「中・長期戦略Vision2035」を新たに策定しました。「技術者の育成・確保」、「ニーズに応える事業展開」、「DXによる生産性の向上」の視点で『事業戦略』を展開するほか、多様な人材の確保・連携等に向けた『人材戦略』、安定的かつ透明性の高い財務運営を図るための『財務戦略』に取り組んでまいります。

今後とも、「高度な技術力を有する公益財団法人として兵庫の社会基盤整備を総合的に支援します」という基本理念のもと、行政の立場を理解した技術支援団体として、県・市町の皆様と「信頼で結ばれた兵庫のベストパートナー」をめざし、役職員一丸となって邁進してまいります。

引き続き、ご支援・ご指導を賜りますとともに、更なるご活用をお願い申し上げます。

令和8年4月

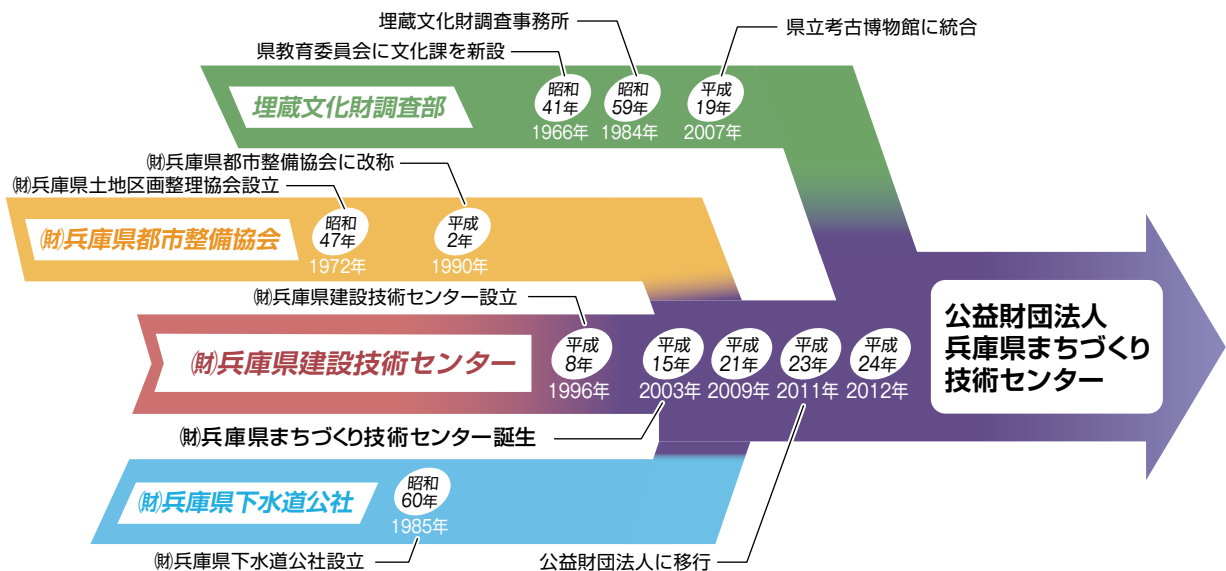
理事長 上田 浩嗣

## ■ 設立目的

兵庫県及び県内の市町の建設技術の向上と公共事業の効率的な推進を図るとともに、土地区画整理事業、まちづくり活動等の支援、流域下水道事業及び流域下水汚泥処理事業に係る維持管理等を行うことにより、より質の高い社会基盤づくり及びまちづくり並びに生活環境の改善及び公共用水域の水質の保全に寄与することを目的とする。

■ 基本財産：5億5,700万円 ■ 設立年月日：平成8年4月1日 ■ 出捐者：兵庫県及び県内29市12町(県内全市町)

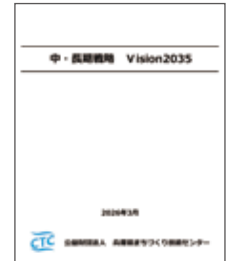
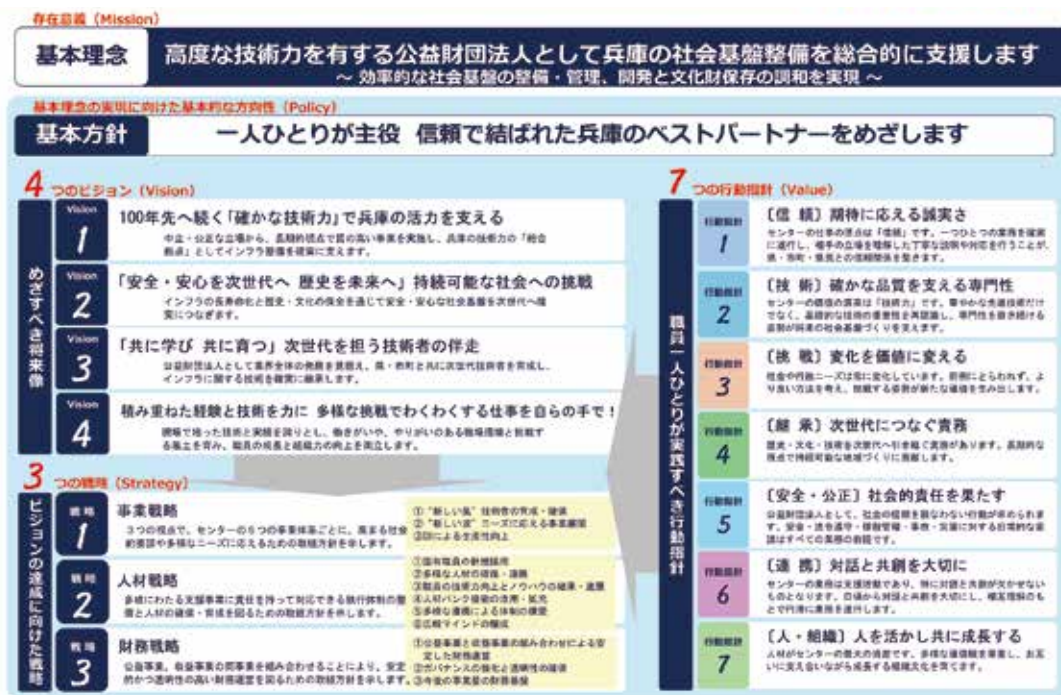
## ■ 組織の沿革



## ■ 中・長期戦略「Vision2035」

社会情勢の変化や県・市町の課題・ニーズに適時的確に対応するため、設立30周年を機に、新たな中・長期戦略「Vision2035」を策定しました。Vision2035は基本理念、基本方針、4つのビジョンと3つの戦略、7つの行動指針と3つの戦略、7つの行動指針で構成しています。

### Vision2035の全体像



「Vision2035」  
はこちらから



## ■ 事業体系





## ■ 評議員名簿

(令和8年4月1日現在)

神戸市副市長	小松 恵一
尼崎市副市長	塚本 英徳
加古川市副市長	中田 直文
赤穂市副市長	溝田 康人
南あわじ市副市長	喜田 憲和
兵庫県土木部次長	中村 浩明
兵庫県土木部次長	家永 薫
一般社団法人兵庫県建設業協会 専務理事	山田 聖一
兵庫県下水道協会事務局長	山本 哲也
一般財団法人建設工学研究所(神戸大学名誉教授)	藤田 一郎
奈良文化財研究所 文化遺産部 景観研究室 客員研究員	小浦 久子

## ■ 役職員数

(令和8年4月1日現在)

区分	職員	兵庫県職員	市職員	土地開発公社	技術専門員等	事務嘱託等	計(人)
役員	4	1	0	0	0	0	5
総務部	2	11	0	0	3	9	25
企画部	4	6	0	0	4	5	19
建設技術部	5	12	1	0	14	5	37
上下水道事業部	9	4	3	0	5	1	22
まちづくり推進部	8	3	1	0	4	7	23
埋蔵文化財調査部	0	10	0	0	3	29	42
事務所	13	8	0	1	25	6	53
管理事務所	17	5	7	0	12	10	51
計(人)	62	60	12	1	70	72	277

## ■ 職員の技術資格一覧

(令和8年4月1日現在)

資格種別	人数
技術士(総合技術監理部門)	4
技術士(建設部門)	13
技術士(上下水道部門)	7
技術士補	20
1級土木施工管理技士	52
2級土木施工管理技士	9
公共工物品質確保技術者Ⅰ	12
公共工物品質確保技術者Ⅱ	2
1級構造物診断士	1
コンクリート診断士	8
コンクリート主任技士	3
コンクリート技士	8
道路橋点検士	15
道路橋点検士補	1
土地区画整理士	19
1級建築士	9
2級建築士	1
1級建築施工管理技士	1
1級造園施工管理技士	4
2級造園施工管理技士	2
1級電気施工管理技士	1
2級電気施工管理技士	1
測量士	12
測量士補	22

## ■ 役員名簿

(令和8年4月1日現在)

理事長	上田 浩嗣
常務理事	長田 二郎
〃	大谷 浩司
〃	達可 明朗
理事(姫路市副市長)	井上 泰利
〃(西宮市副市長)	北田 正広
〃(福崎町副町長)	近藤 博之
〃(名古屋大学減災連携研究センター 准教授)	平山 修久
〃(神戸大学大学院工学研究科 教授)	鍛田 泰子
監事	水埜 浩
〃(多可町副町長)	藤原 正和

## ■ 技術顧問

(令和8年4月1日現在)(50音順)

氏名	職名	専門分野
朝倉 俊弘	(特非)トンネル工学研究会理事長 (京都大学名誉教授)	トンネル工学、岩盤工学
宇高 雄志	兵庫県立大学 環境人間学部教授	建築学
加賀有津子	大阪大学大学院工学研究科 ビジネスエンジニアリング専攻教授	都市・地域デザイン、 まちづくり、空間情報学
小林 潔司	京都大学経営管理大学院 特任教授(京都大学名誉教授)	計画マネジメント
澁谷 啓	(一財)建設工学研究所代表理事 (神戸大学名誉教授)	地盤工学、減災工学、 維持管理工学
平山 修久	名古屋大学減災連携研究センター 准教授	災害環境工学、 環境工学、衛生工学
森川 英典	神戸大学名誉教授	アセットマネジメント、 コンクリート工学

## 1. 設計・積算・工事監理の一貫的支援による持続可能なインフラ整備の推進

老朽化施設の増加やインフラ整備の高度化に対応し、県・市町が実施する公共土木工事及び建築・設備工事について、設計から工事検査まで一貫した支援を提供するとともに、公共建築工事の包括支援など多様なニーズに対応することで、構造物の品質確保とコスト縮減、土木行政事務の効率化に貢献します。

### [ 建築工事の委託条件 ]

- 小規模(トイレ改修工事、体育館耐震診断など)の建築一式工事(新築・改修)が対象です。設計から工事監理までを一貫して委託していただくことを基本としています。(原則として、「工事監理業務のみ」等での受託は行っていません。)
- 工事内容等により、工事監理業務に代えて、工事監理支援業務を提案させていただくことがあります。(設計事務所等が建築士法上の工事監理を行い、センターは、発注者の監督員が行う段階確認や各種検査等の支援を行います。)

### 1 | 設計支援業務

最新の技術情報と豊富な経験を活用し、設計コンサルタント等への適切な指導・助言を行います。綿密な設計協議を通じて、設計委託成果品の確認を含む工事の計画・設計を支援します。あわせて、仕様書や設計書等の契約関連書類の作成についても助言します。

建築工事においては、設計業務委託の発注に関する相談にも応じます。

### 3 | 工事監理業務

発注者の補助者として、関係法令・規定に基づく適切な工事監理を遂行し、良質な社会基盤施設を安全かつ工期内に完成させます。工事内容の変更に伴う設計・積算業務を実施します。

また、会計検査院の現地検査時には、発注者への技術的なサポートも行います。

### 5 | 建設工事支援検査業務

センターの支援検査員が、検査員・監督員・工事受注者の立会のもと、工事監理未受託案件の検査支援を実施します。設計図書との整合性、出来形・品質の確認、工事成績の参考評定を通じて、公平な評価と適切な品質確保を図ります。

### 2 | 積算業務

中立かつ公平、公正を基本に、関係法令を遵守し、兵庫県土木工事標準積算基準書、公共建築工事積算基準や市町の規定に基づき、守秘性を確保して、適正な工事価格を積算します。

※積算条件は発注者から指定していただきます。

### 4 | 総合評価技術支援業務

総合評価落札方式において、土木工事における多種多様な技術提案の評価など発注者の大きな負担となっている業務について、①評価項目、②評価基準、③技術提案の評価の整理及び提案を行い、発注者を支援します。

### 6 | 公共建築工事の包括支援業務

建築・電気・機械の専門技術者の派遣や、技術的根拠に基づいた助言など、市町の技術的課題に応じた支援を提供します。工事案件に縛られない年間契約(事後精算制)を導入し、事業着手準備段階から柔軟な支援体制を整え、実態に即した支援を行います。

## 防災・減災対策における発注者支援による自然災害に強い社会の実現

### 防災・減災対策工事及び災害復旧工事に対する支援

激甚化する豪雨災害や切迫する南海トラフ巨大地震等に対し、地震・津波・高潮・道路防災対策等の設計・積算・工事監理業務を優先的に受託し、自然災害に強い社会の実現を支援します。災害発生時には、災害復旧事業を迅速かつ的確に支援し、安全・安心を支える強靱な社会基盤づくりに貢献します。



災害復旧工事(地すべり)

- 工事名 町道久谷桃観線道路災害復旧工事
- 委託者 新温泉土木事務所(新温泉町)  
※道路法による市町道の工事代行
- 受託内容 査定設計書作成・実施設計書作成  
工事監理

## 道路

工事名 (主)三田西インター線 道路改築工事

委託者 宝塚土木事務所

受託内容 積算・工事監理



## 橋梁(新設)

工事名 (都)神吉中津線 橋梁上部工工事

委託者 加古川市

受託内容 積算・工事監理



## トンネル

工事名 (国)178号 浜坂道路Ⅱ期トンネル建設工事

委託者 新温泉土木事務所

受託内容 総合評価・積算・工事監理



## 営繕・設備

工事名 淡路公園オアシス館等改修工事

委託者 洲本土木事務所

受託内容 設計支援・積算・工事監理



## 河川

工事名 (二)新川・東川 統合排水機場整備工事

委託者 尼崎港管理事務所

受託内容 積算・工事監理



## 橋梁(耐震補強)

工事名 (国)427号 月ヶ花橋 耐震補強工事

委託者 加東土木事務所

受託内容 積算・工事監理



## 2. インフラ老朽化対策

市町が管理する橋梁、トンネル等の施設について、センターがPDCAサイクルによる「計画・補修・点検・見直し」を一貫して行うことで、効率的・効果的な維持管理を実現します。

### Plan 長寿命化修繕計画

#### 長寿命化修繕計画 策定業務

最新の点検データに基づき、将来の部材評価点\*の予測、ライフサイクルコスト(LCC)の算出、補修の順位付け、事業費の平準化を行い、長寿命化とLCCの縮減を図る長寿命化修繕計画を策定します。

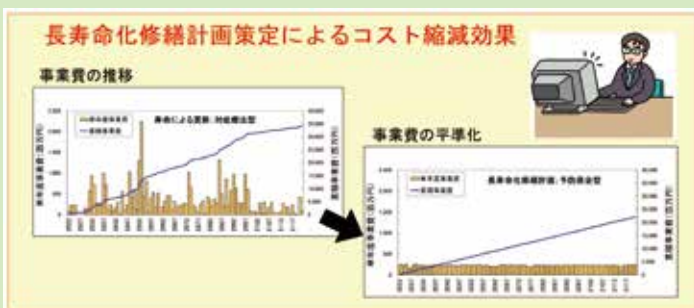
※橋梁の損傷状況を点数化したもの



学識意見聴取の状況



損傷状況を現場にて確認



事業費平準化のイメージ図

## 橋梁の 老朽化対策を 支援

橋梁の維持管理においては、継続的な橋梁点検、点検結果に基づく長寿命化修繕計画、計画に基づく修繕対策を行うマネジメントサイクルを構築し、ライフサイクルコストの縮減と適切な安全性の確保を図ることが重要です。センターでは、「市町橋梁マネジメントシステム」を核とし、各種支援メニューをご用意しております。

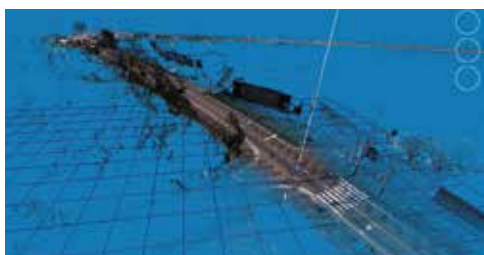
### Act 改善・見直し

#### 市町橋梁マネジメント システムの活用

市町の管理橋梁に係る諸元情報、点検履歴、補修履歴等を「市町橋梁マネジメントシステム」に登録し、日常的な維持管理のためにデータを提供しています。また、登録されたデータを活用することで、橋梁カルテの作成や、長寿命化修繕計画の策定、市町職員が行う直営点検を支援しています。

### その他のインフラ老朽化対策を支援

センターでは、橋梁のみならず、舗装やトンネルの点検も行っています。点検結果は「道路施設管理データベース」に登録され、市町のみなさまは自由にご覧いただけます。また、点検結果を活用し長寿命化修繕計画の策定を行うことで舗装及びトンネルの老朽化対策を支援しています。



取得した3次元データを活用した3Dモデルの例



トンネル点検状況

#### ① 路面性状調査

路面性状測定車により調査しています。道路空間の3次元データが取得可能なシステムを用いて実施することも可能です。

#### ② トンネル点検

高所作業車を使用してトンネル全般を近接目視により点検し、必要な箇所に対し打音検査を実施します。点検結果により把握された個々の変状について健全度ランクを判定した後、トンネル全線の健全性を診断します。

#### ③ 舗装修繕計画策定業務、 トンネル個別施設計画策定業務

路面性状調査やトンネル点検の結果を基に、舗装修繕計画やトンネル個別施設計画を策定します。

# Do 修繕対策

## 橋梁カルテ作成業務

橋梁の補修詳細設計に向けて想定される劣化要因や必要な調査補修方法等を取りまとめたカルテを作成します。



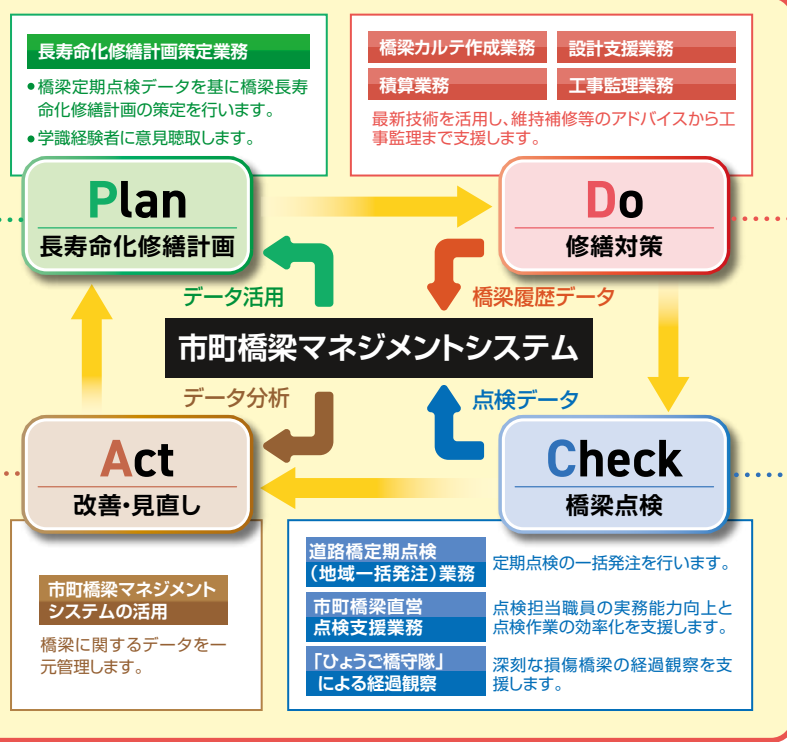
工事施工状況の確認



## 老朽化対策工事の設計、積算、工事監理業務

老朽化対策工事の設計、積算、工事監理等の事業全般にわたり支援します。

### 〈橋梁維持管理におけるPDCAによるマネジメントサイクル〉



# Check 橋梁点検

## 道路橋定期点検 (地域一括発注) 業務

センターによる健全性の診断と橋梁点検車の貸出しにより、点検成果の品質確保とコスト縮減を図ります。



橋梁点検車による点検状況

## 「ひょうご橋守隊」による経過観察

深刻な損傷橋梁を補修するまでの間、橋梁の安全性および劣化の進行状況を確認します。対象橋梁は橋守隊の活動体制に合わせ実施します。



現場での経過観察状況

## 市町橋梁直営点検支援業務

直営点検を行う市町職員に「らくらく点検システム※」を搭載したタブレット端末を活用していただき、職員の技術力向上を支援します。

- (A) 出前講座による点検要領の説明
- (B) 点検成果の精査・健全度診断の助言
- (C) 点検データの管理

※らくらく点検システム  
橋梁点検を直営で実施する市町職員の点検作業の軽減に加え、技術力や点検精度の向上が図られるとともに、効率的なデータ管理が行えるシステムです。



直営点検支援の状況

## 1. 流域下水道・流域下水汚泥処理施設の維持管理

### 1 | 流域下水道事業に係る維持管理

兵庫県では、昭和41年度以降、猪名川、武庫川(上流・下流)、加古川(上流・下流)及び揖保川の4流域6処理区で流域下水道事業を展開しています。センターでは、この維持管理業務を兵庫県から受託しており、令和6年度末現在、6処理区合計の処理人口は約191万人(県人口の3割以上)、年間約3億m<sup>3</sup>の下水の処理に関わっています。

#### ◆ 流域下水道事業の概要 (令和6年度末)

流域名	処理区名	関係市町	現況処理人口(千人)	現況処理能力(千m <sup>3</sup> /日)	管渠延長(km)
武庫川	上流	神戸市、西宮市、三田市	188.1	100.0	16.3
	下流	尼崎市、西宮市、伊丹市、宝塚市	611.9	357.0	33.8
加古川	上流	神戸市、西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市	246.9	108.0	46.3
	下流	加古川市、高砂市、稲美町、播磨町	342.2	159.9	22.6
揖保川	揖保川	姫路市、宍粟市、たつの市、太子町	177.7	106.8	52.8
猪名川	原田	尼崎市、伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町	341.3	190.8	34.1
合計		17市4町	1,908.1	1,022.5	205.9

### 2 | 流域下水汚泥処理事業に係る維持管理

兵庫県では、阪神・播磨地区において流域下水道と公共下水道から発生する汚泥を兵庫東及び兵庫西流域下水汚泥広域処理場にて集約的に処理しています。センターでは、この維持管理業務を兵庫県から受託しており、令和6年度末現在、処理人口は約204万人、年間約20万tの下水汚泥の処理に関わっています。

#### ◆ 流域下水汚泥処理事業の概要 (令和6年度末)

流域名	関係市町	処理人口(千人)	現況処理能力(脱水汚泥(t/日))	送泥管延長(km)
兵庫東	兵庫県(武庫川上流、下流)、尼崎市、西宮市、芦屋市	1,467.8	600	58.3
兵庫西	兵庫県(揖保川) 姫路市、たつの市、太子町	569.6	490	24.5
合計	3流域下水道、5市1町	2,037.4	1,090	82.8

### 県内の流域下水道事業及び流域下水汚泥処理事業



## 2. 公共下水道施設の建設等の支援、下水道知識の普及啓発

### 1 | 公共下水道施設の建設・改築支援

#### ① 建設支援

市町が実施する公共下水道建設事業の設計業務及び工事監理業務を受託し、建設を支援します。



**工事名** 管渠布設工事  
(松帆・湊地区)

**委託者** 南あわじ市

**受託内容** 設計・積算・  
工事監理

#### ② 改築支援

市町が実施する公共下水道施設の老朽化対策事業に対応するため、下水道ストックマネジメント計画の策定や機械・電気設備等の改築工事の設計業務および工事監理業務を受託し、計画的な改築を支援します。



**工事名** 管路劣化対策  
更新工事  
(篠山処理区)

**委託者** 丹波篠山市

**受託内容** 積算・工事監理

### 2 | 生活排水処理の効率化の支援

#### ① 統廃合等の支援

下水道、農業集落排水施設、浄化槽等の汚水処理施設の維持管理をより一層効率的に進めるため、処理場統廃合や汚水処理施設共同整備事業に係る計画策定・設計・工事監理業務等を受託し、生活排水の効率化を支援します。

#### ② 維持管理の支援

市町が管理する各処理施設の水質検査業務を受託し、一括発注することに加えて、包括的民間委託の導入をサポートし、効率的な維持管理を支援します。

### 3 | 下水道知識の普及啓発

下水道の役割、効果等について広くPRするため、5箇所の浄化センターで施設見学会を開催します。

また、小学校における社会科授業の一環としての施設見学や中学生の「トライやる・ウィーク」の受け入れなども実施します。



水処理施設の見学

## 3. 下水道排水設備工事責任技術者資格試験

県内各市町との協定に基づき、下水道排水設備工事責任技術者の技術水準の維持・向上と市町事務の省力化を図るため、県内統一の責任技術者試験、受験講習及び更新講習を実施します。

#### 令和8年度の試験・講習の実施予定

更新講習	令和8年 7月予定 (オンデマンド講習)
	令和9年 2月予定 (集合型講習)
受験講習	令和8年 9月予定 (オンデマンド講習)
試験	令和8年 10月予定

## 4. 水道施設の改築・統廃合支援

市町が実施する水道施設の老朽化対策事業に対応するため、改築・統廃合にかかる計画・設計への助言や水管橋点検への支援、また、積算・工事監理業務の受託など、計画的な改築・統廃合を支援します。

また、広域化の検討(市町を跨ぐ施設の統廃合や連絡管の整備など)において技術的な助言を行います。



**工事名** 甲山幹線(第5工区)  
布設替工事

**委託者** 姫路市

**受託内容** 積算・工事監理

## 1. 都市計画及び土地区画整理事業の調査・計画

都市の健全な発展と秩序ある整備を推進するため、土地区画整理事業を中心とするまちづくりを支援します。

### 1 | まちづくりの立ち上げ支援

まちづくりの立ち上げに関する調査や計画についてアドバイスします。

また、「まちアップ支援事業」を活用して、勉強会や説明会の開催、事業推進のための調査を支援します。

### 2 | 都市計画への支援

都市の発展を計画的に誘導し、秩序ある健全な市街地を創造していくため、地区計画策定業務や都市再生整備計画策定業務などを受託します。

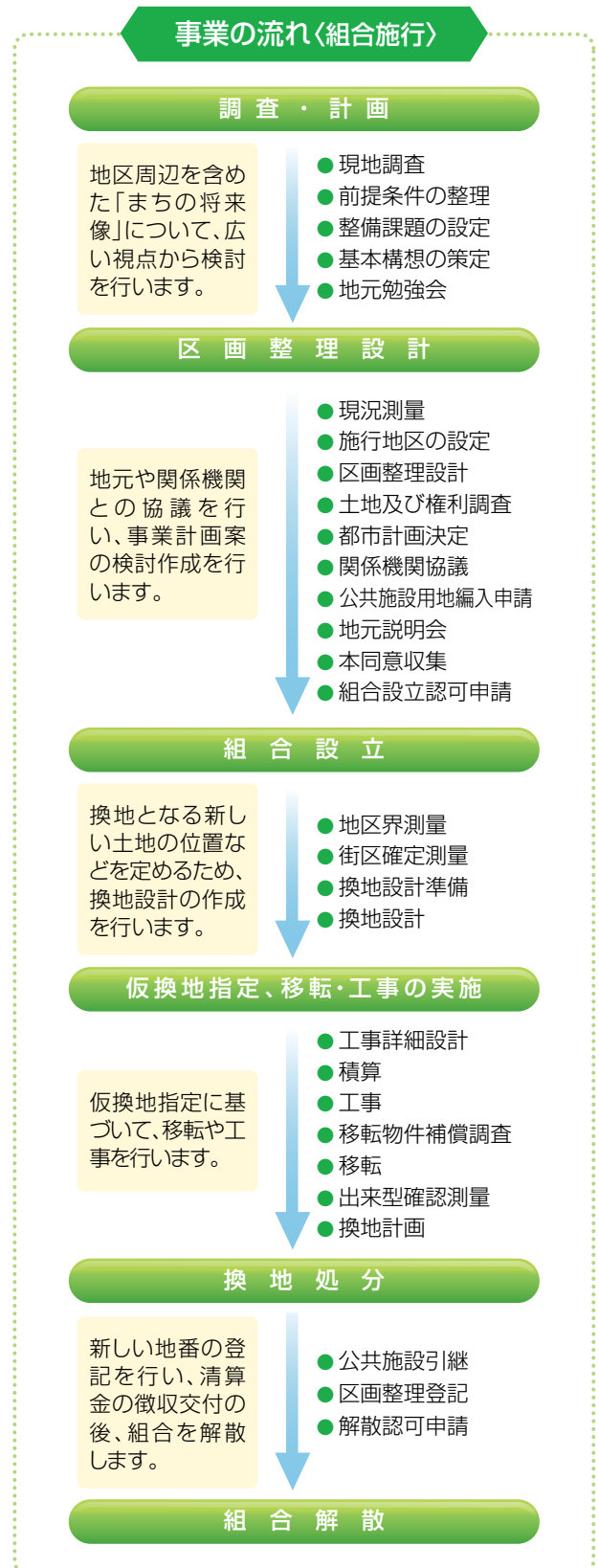
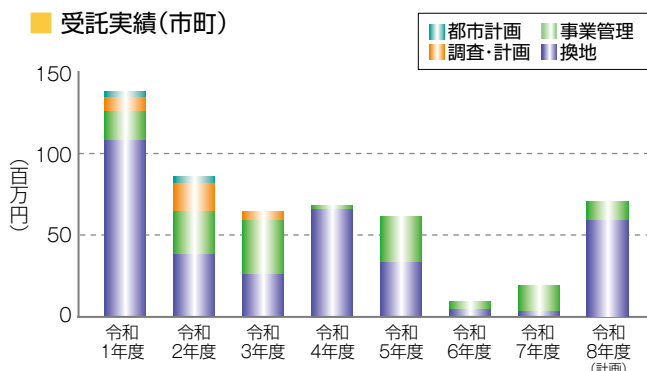
### 3 | 土地区画整理事業への支援

事業の実施に必要な事業計画や実施計画書の作成、土地の権利変換を行う換地設計、換地計画及び換地処分等、各種調査設計や事業管理等土地区画整理事業全般の業務を市町・土地区画整理組合から受託します。

また、円滑な土地区画整理事業推進のため、市町及び組合等が行う説明会や、勉強会に出席し、住民の意向反映や合意形成を促進するとともに、県・市町との関係部局との協議調整を支援します。



土地区画整理事業により整備された街並み  
(太子町JR網干駅南西地区)



## 2. 住民主体のまちづくりへの専門家派遣

### 1 | まちアップ支援事業

住民主体のまちづくり推進のため、市町への技術支援を目的とする「まちアップ支援事業」を実施しています。本事業は、市町が進める住民主体によるまちづくりや官民協働のまちづくりを支援するため、また都市計画や都市整備事業に関する相談、まちづくりに関するイベントや講演会、まちづくり教育の講師として、まちづくり専門家の派遣を行っています。

#### 専門家派遣事業

##### アドバイザー派遣

まちづくり初動期に必要な課題の共有や合意形成と地元の体制づくりを支援

- ・センター設置の「まちづくり専門家バンク」登録専門家を派遣
- ・アドバイザー報酬(謝金・交通費)、コンサル委託料は規定の範囲内でセンターが負担

##### コンサルタント派遣

まちづくりの方針検討や構想案、計画案の作成準備と合意形成を支援

#### まちづくり専門家会議

まちづくり専門家の多様な取組みを知り、市町のまちづくりに活かす

※令和7年4月1日施行(改正)

#### ① アドバイザー派遣

まちづくりの初動期に必要な課題の共有や合意形成と地元の体制づくりを支援します。

- まちづくりの取組みを始めるためのアドバイス
- まちづくりの取組みや検討プロセスのアドバイス
- ワークショップ等による課題の共有、まちづくりの方向性や将来像の検討
- まちづくりの方向性や将来像についての合意形成を支援
- その他都市計画やまちの整備事業に関する相談・勉強会等の講師

##### ◆ 派遣対象

- ・住民等で構成される住民団体(自治会、まちづくり検討会、まちづくり協議会等)
- ・小中学校の課外授業
- ・官民協働のまちづくりを進めようとする市町

#### ② コンサルタント派遣

まちづくりの方針検討や構想案、計画案の作成準備と合意形成を支援します。

- 地区の現況調査・課題調査、まちづくり方針の検討
- まちづくり構想案や計画案の作成準備
- まちづくりについての合意形成と市町への提案を支援

##### ◆ 派遣対象

- ・まちづくり取り組む住民団体
- ・官民協働のまちづくりを進めようとする市町

#### ③ まちづくり専門家会議

専門家派遣の活用をより適切でさらに充実したものにするため、専門家の講演と質疑応答・意見交換などを行います。

それぞれの専門家の支援実例と業務の特徴などを理解し、意見交換等を行います。

## 2 | 人材育成

### ① まちづくり専門家バンク

まちづくり専門家の派遣による住民主体のまちづくり支援を円滑に行うため、まちづくりに関する各分野の専門知識と住民団体等支援の実績のある専門家を登録しています。

- まちづくり専門家バンク登録者:50名(R8.4.1現在)



まちづくり専門家バンク登録リスト



まちづくり専門家会議

## 3. 修景助成、専門家派遣、景観形成等活動助成

### 1 景観形成支援事業

#### ① 修景助成事業

景観形成地区\*等の建築物などの景観形成に資する外観の整備に要する費用の一部を助成します。

- 歴史的景観形成建築物等修景助成
- 景観形成重点区域修景助成
- 一般建築物等修景助成
- 景観形成重要建築物等修景助成 ほか

※優れた景観を創造または保全する必要のある区域で県条例により指定された地区



修景前



修景後

修景助成による  
外観整備の事例  
(丹波篠山市城下町地区)

#### ② 専門家派遣事業

景観形成地区等での修景相談、住民団体による景観形成推進活動等の指導、地区や通り・街区などの景観整備計画の立案などに景観アドバイザー等の専門家を派遣します。

#### ③ 景観支障建築物等除却・改修助成事業

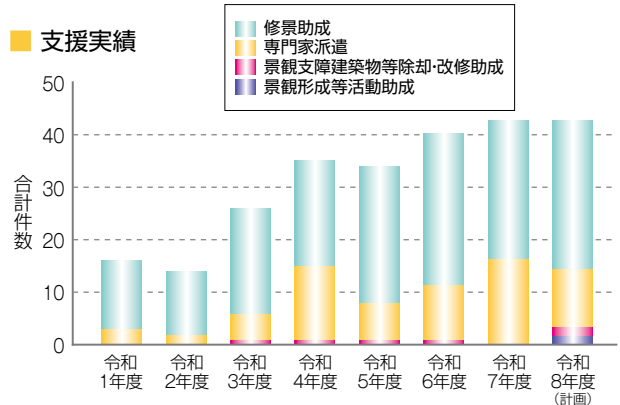
景観形成地区等で管理不全な状態のために周辺の良好な景観を阻害している物件について、除却または改修費の一部を助成します。

#### ④ 景観形成等活動助成事業

地区住民団体や景観形成等推進員\*による景観形成等推進活動に係る経費の一部を助成します。

※県が景観条例に基づき登録し、景観施策への協力や県民などによる景観形成等に関する活動を支援する者

#### 支援実績



高砂市 高砂地区



丹波篠山市 城下町地区



神河町 中村・粟賀町地区



佐用町 平福地区



たつの市 龍野地区

### 2 人材育成

#### ① 景観アドバイザーバンクの運営

景観形成地区において、地区の景観にふさわしい建物となるよう修景相談に応じるため、景観形成や町並み形成、伝統的建築物の知識・技術と経験を持った建築士を登録しています。

- 景観アドバイザーバンク登録者:72名(R8.4.1現在)

#### ② 修景事例報告会

景観形成支援事業で派遣を行った事案について、派遣した専門家から報告をいただき、まちづくり専門家や行政担当者が支援事例を共有することにより、今後の支援の参考にさせていただくことを目的に開催します。



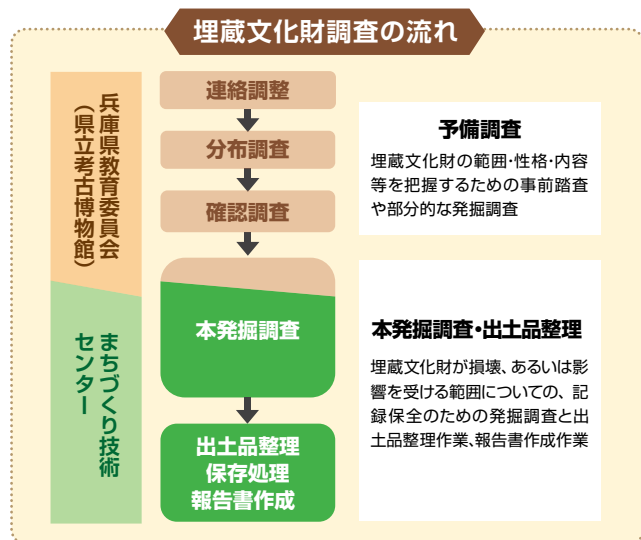
修景事例報告会(リモート開催)

## 1. 遺跡発掘調査

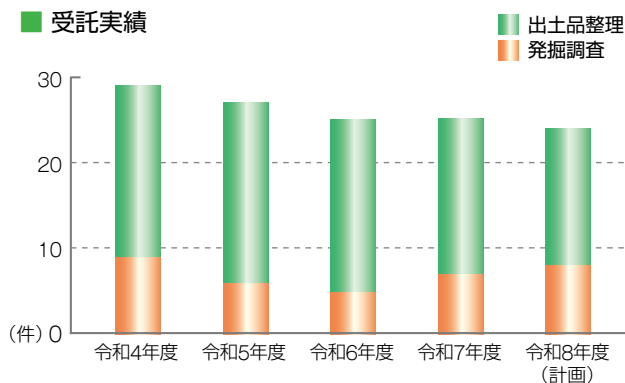
社会基盤整備事業に伴い現状保存できない遺跡の発掘調査を、兵庫県教育委員会から受託し、埋蔵文化財の保存と開発との調和に取り組んでいます。また、人材不足の市町教育委員会への支援も行っています。

### 1 | 県教育委員会からの受託事業

国・県等が行う開発事業に伴う遺跡について、県教育委員会から受託し、発掘調査を行っています。発掘調査は、やり直しがきかない作業であるため、細心の注意を払いながら、人力と機械を使い分けて効率よく実施しています。



西脇城跡(西脇市)



### 2 | 市町教育委員会の支援

#### ① 埋蔵文化財調査の支援

市町教育委員会等から発掘調査現場の運営・監理業務等を受託し、市町の埋蔵文化財調査の円滑な実施を支援しています。

#### ② 研修等

発掘調査に係る実務能力の向上、新技術の習得等を図るため、市町教育委員会等の埋蔵文化財担当者を対象に研修を行っています。

また、県内の埋蔵文化財担当者による最新の発掘調査に関する成果や手法の発表および討議を行い、情報の共有化を図っています。



埋蔵文化財担当者研修

#### 開発に伴う発掘調査の流れ

##### 機械掘削

土質の変化に注意しながら、土器等の遺物が含まれる土層まで、大型機械で慎重に掘り下げます。



##### 人力掘削

人力で、土器等の遺物を取り上げつつ、遺構が検出される面まで掘削した後、発見された遺構を掘り下げます。



##### 発掘調査の記録

発見された遺構や遺物の状況を写真撮影するとともに、測量・実測等を行い、発掘調査の成果を記録として残します。調査範囲全体の平面図は空中写真測量で作成します。



## 2. 出土品整理

土器・石器・金属器・木器など、発掘した出土品(遺物)は多種多様ですが、これらは、長い期間土の中に埋まっていたため破損や劣化しています。

センターでは、県教育委員会の委託を受け、これらの出土品を接合・復元し、場合によっては保存のための理化学的な処理を施す出土品整理を行うとともに、発掘調査の成果を取りまとめた「発掘調査報告書」を作成しています。



市場南山1号墳出土遺物

### 出土品整理の流れ

#### 接合・復元

壊れた状態で出土した土器等の破片をつなぎ合わせ、本来の形に戻します。



#### 実測・トレース

出土品の形や特徴を観察して正確な図面を作成し、印刷用に清書します。



#### 保存処理

金属器の錆落としや、木器の樹脂浸透等の処理を施し、出土品の劣化を防止します。



#### 発掘調査報告書の作成

清書した各種の図面や遺構・遺物の写真等を編集して、発掘調査の記録や成果を報告書にまとめます。



## 3. 埋蔵文化財の公開と活用

県民の皆様へ、埋蔵文化財と埋蔵文化財調査への理解を深めていただくため、いろいろな取り組みを行っています。

### 1 | 発掘調査成果の公開

#### ① 現地説明会の開催

発掘現場を体感する貴重な機会として、発掘作業の現地説明会を開催しています。



#### ② 遺跡発掘体験の実施

自分の手で土器を掘り出す感動を体験してもらう機会として、一般の参加者が実際の遺跡で発掘作業を行う発掘体験を開催しています。



#### ③ 発掘調査成果の速報展示

現地説明会の後、考古博物館等で出土品や写真等を用いた調査成果の速報展示を行っています。



#### ④ 埋蔵文化財情報誌の発刊

最新の発掘調査成果を、年に2回発行する埋蔵文化財情報誌「ひょうごの遺跡」で公開しています。

#### ⑤ 発掘調査速報会の開催

発掘調査成果を調査担当者が写真等を用いて調査内容を説明する速報会を開催しています。



### 2 | 出土品整理の公開

(バックヤード見学ツアー)

考古博物館の来館者へ出土品の整理作業を案内するツアーを行っています。



### 3 | 県立考古博物館との連携

考古博物館と連携し、各種イベント等を開催しています。



## 1. 技術情報の管理・提供、新技術の導入促進

### 1 | 各種システムの運営等

#### ① 積算共同利用システム

積算業務の効率化・コスト縮減を図るため、県・市町等が共同で利用する「兵庫県積算共同利用システム」の運営・管理及び積算基準データの作成・提供を行っています。

#### ③ ひょうごの土木技術活用システム

県内で開発された技術の育成を目的に、県が運用する「ひょうごの土木技術活用システム」の運営・情報提供等を支援します。

#### ② 社会基盤施設総合管理システム

県が運用する「社会基盤施設総合管理システム」に施設台帳や点検結果、位置情報を登録するほか、システム操作に関する問い合わせへの対応など、システム利用者への支援もを行っています。

#### ④ ポータルサイト「匠」

県・市町が活用する建設技術に関するデータベースサイトとして、県が運営するポータルサイト「匠」の維持管理を行い、行政の効率的な執行を支援しています。

### 2 | 技術顧問制度等による技術支援

県・市町からの建設技術、上下水道、まちづくり等に関する相談に対し、センターの技術力や情報を活用して、適切に回答・助言を行うほか、7名の学識者からなるセンター技術顧問に専門的な指導や助言を求めます。(P4参照)

### 3 | 技術情報誌の発行

社会基盤整備事業の紹介や技術情報を提供するセンター機関誌「CON-TECH ひょうご」を発行し、県・市町等の職員に配布しています。



CON-TECH  
ひょうごは  
こちらから



### 4 | 施工解説動画

現場経験が少ない職員向けに施工管理のポイント等をまとめた解説動画を公開しています。



視聴サイト  
(掲載工種も  
募集中!)



【第2弾】配筋検査(基礎編)  
[R6.3公開]



【第3弾】道路土工(盛土工編)  
[R7.4公開]

### 5 | デジタル技術等の積極的な活用

#### ① ICT活用の促進と技術向上

ICT活用工事の工事監理業務を継続して受託するとともに、ICT化工事の知識向上を目指し、情報の収集と共有を図りながら、技術習得や活用に取組みます。

#### ③ センターDXの推進

現場立会時の写真・コメントの共有機能及び不備検知機能を実装した「工事監理業務支援ツール」、県・市町から各種相談を一元的に受け付ける「オンラインワンストップ窓口」、研修事務を一元管理する「研修管理システム」、スマートフォンを活用した「新技術路面性状調査」、「市町橋梁マネジメントシステム」などAIを含む最新のデジタル技術を活用したシステムの開発・運営等を推進します。

#### ② 被災箇所調査システムの利用促進

現場から被災情報等をアップロードし、災害対策本部等とリアルタイムに情報を共有できる「被災箇所調査システム」について適切な運用を実施するとともに、利用者を拡大します。(利用料の市町負担はありません)



システムの利用状況

## 2. 災害時支援活動、災害緊急現場支援技術者講習

支援対象:市町

### 1 | 市町災害復旧支援制度 (D-SUPPORT)

大規模災害が発生した際に、「ひょうごE-DASH」\*と「兵庫県防災エキスパート」が連携し、被災状況の把握や災害調査等を支援します。

さらに、市町からの要請に応じて、災害査定に向けた測量・設計業者等への技術指導や災害査定設計書作成等を受託します。



\* 市町の災害復旧事業の迅速かつ的確な実施を支援するため、センター職員で構成する緊急災害復旧支援派遣隊

派遣対象:県・市町

### 2 | 兵庫県防災エキスパートの派遣

県等の技術職OBからなる「兵庫県防災エキスパート登録制度」を運営し、大規模災害時には、災害復旧活動を迅速かつ円滑に進めるため、兵庫県防災エキスパートを県・市町に派遣し、公共土木施設の被災状況把握や被害状況調査をボランティアとしてサポートします。

● 登録者:131名(R8.4.1現在)

### 3 | 災害緊急現場支援技術者講習

県内の測量会社等の測量士が、災害発生時に県や市町が発注する「災害緊急設計図作成業務」を遂行するために必要な業務\*に関する知識・技術を習得する講習会を開催し、災害緊急現場支援技術者の養成を行っています。

● 登録者:417名(R8.4.1現在)

● 修了証の有効期限は2年間

\* 現地踏査、測量、被災写真等の撮影・整理、災害査定に係る補助的作業および査定設計書に要する資料作成等

### 市町災害復旧支援制度(D-SUPPORT)活用の流れ



## 3. 市町職員育成支援

### 1 | 市町建設事業担当職員育成制度

市町職員の実務能力向上のため、センターに市町職員を受け入れる長期研修を実施しています。

研修期間中は、センターにおいて積算・工事監理、橋梁老朽化対策等の実務を通じて、市町のニーズに応じた実務経験を積むほか、県内外で開催される研修会への参加や資格取得のバックアップなどをおこない、市町の建設・まちづくり行政を担う職員の技術力向上を支援します。

【対象職員】 建設事業の経験年数が5年程度以上

【受入期間】 原則2年間

【費用負担】 市町職員の人件費の1/2を負担

\* 経験年数、受入期間、勤務地、担当業務等については、市町のニーズに柔軟に対応します。

※ 制度経験者の話はこちらから  
(CON-TECHひょうご第60号掲載)



### 2 | “実務型” 技術者育成の取組み

積算の短期OJT型支援や市町職員が直営での橋梁点検を効率的に実施できる「らくらく点検システム」の活用により、技術者の育成と実務能力の向上を図ります。

# 4. 階層別・専門分野別研修、OJTや職場研修を支援

## 1 階層別・専門分野別研修

県・市町建設技術担当職員の技術力向上を図るため、職員の役職に応じたスキルを学ぶ「階層別研修」や構造物設計など分野毎の専門知識を学ぶ「専門分野別研修」を実施しています。

令和8年度は全36講座(受講者:約1,500人)を計画しています。また、講義に加え実務に即した演習、実習を積極的に導入します。

引き続き、対面研修の状況をライブ中継し職場等でもリアルタイムに受講できる「ハイブリッド研修」や、期間内の自由な時間に受講できる「オンデマンド研修」を効果的に組み合わせて実施します。

※開催日時、開催方法、内容等については、研修案内またはホームページにてご確認ください。

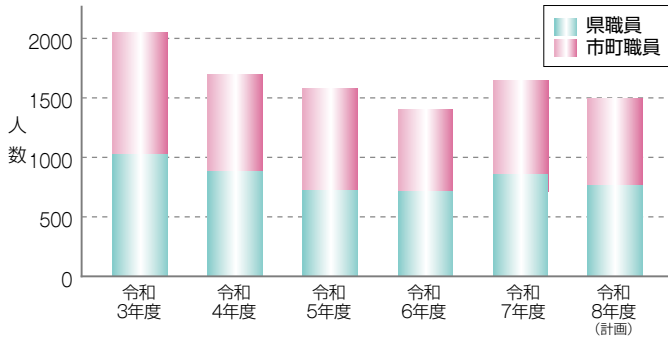


市町新人初級研修(後期)



道路計画演習

■ 階層別・専門分野別研修参加者数



## 2 OJT研修

ひょうご土木技術マイスター(\*)による砂防堰堤の設計から手書き製図までを行う「砂防OJT研修(県職員)」、河川の流出量算出や流下能力の算出を行う「河川OJT研修(県職員)」、橋梁点検の留意点や健全性を判断する視点を学ぶ「橋梁点検OJT研修(市町職員)」を行っています。

(\*)ひょうご土木技術マイスター

豊富な経験と高い技術力を持つ県土木技術職OBで構成しています。 ● 登録者:44名(R8.4.1現在)



砂防OJT



砂防OJT



河川OJT



橋梁点検OJT

## 3 オーダーメイド型研修

県・市町が取り組む研修にひょうご土木技術マイスターを講師として派遣する「オーダーメイド型研修」を行っています。



工事検査と工事監理

### ① 研修費用

県・市町に講師を派遣し、講師の謝金・交通費等は、センターが全て負担しますので、県・市町の負担はありません。

※研修会場の確保と設営、資料の印刷、講師が研修で使用する機材等に係る費用のみ県・市町で負担ください。

### ② 研修内容

テーマ	人数
指定仮設と任意仮設	10
工事検査と工事監理	19
港湾・海岸施設設計	12
リスクマネジメント	10
施工計画書	12

# ワンストップ相談窓口

## 設計に関すること

例えば

- ・トンネルの施工計画に困っている
- ・橋梁補修の工法に悩んでいる

## インフラ老朽化対策に関すること

例えば

- ・橋梁・トンネル・上下水道施設等の維持管理方法に困っている
- ・点検方法、項目について悩んでいる

## 積算・工事監理に関すること

例えば

- ・トンネル、橋梁の積算・工事監理に困っている
- ・特殊工法の積算に悩んでいる
- ・マンホールポンプの積算に困っている

## まちづくりに関すること

例えば

- ・地元関係者等の合意形成に困っている
- ・事業を立ち上げるまでの手順や対応が分からない

## 文化財に関すること

例えば

- ・出土品の鑑定や作業の実施方法に困っている
- ・文化財に関すること全般について相談したい

おまかせください

建設技術・上下水道・まちづくり・文化財に関する質問や相談にお答えいたします。

問い合わせ  
フォーム▼



[https://www.hyogo-ctc.or.jp/contact/onestop\\_form/](https://www.hyogo-ctc.or.jp/contact/onestop_form/)

Instagram 始めました!



ホームページ



業務案内



HYOGO\_CTC



## 令和8年度 設立30周年 記念事業の紹介



センターが取り組んでいる各種支援事業など「リアルな現場がわかる1日ツアー(6大ツアー)」を企画しています。

第1弾

●5月23日・30日(春の見学会)  
7月～9月(夏の見学会)

### 下水道施設見学会

下水道の役割や効果などを広くPRするため、下水道及び浄化センターの説明・啓発用ビデオ上映・現場見学などを行います。



第2弾

●7月25日  
発掘体験・  
現地説明会ほか

埋蔵文化財調査への理解を深めるため、実際の遺跡で発掘作業の体験や発掘現場を体感していただけます。



第3弾

●7月～9月頃

### 夏の現場見学会

建設業の魅力を体感してもらうため、土木施設や地域の文化に触れるインフラツアーを開催します。



第4弾

●時期未定

### インフラを テーマにしたイベント

インフラの魅力を発信するため、土木技術の体感等やデジタル技術を活用したインフラの維持管理を紹介します。



第5弾

●時期未定

### 景観まちづくり 実績確認ツアー

景観まちづくりの効果を発信するため、景観形成に資する整備を行った地区や景観形成支援地区を見て歩きます。



第6弾

●11月頃

### 設立30周年記念 シンポジウム

設立30周年記念を広く発信するため、防災やインフラをテーマにした基調講演や有識者によるシンポジウムなどを行います。



※開催時期や内容は企画中のため変更になる場合があります



公益財団法人  
兵庫県まちづくり技術センター